

編集後記

私は工学部に所属して、入学したばかりの学生さんに対して物理を教えているのですが、最近入学してくる学生さんから、高校で習う物理は暗記科目でおもしろくない、という意見をしばしば耳にします。私が高校の時には、物理は最も「暗記科目」という言葉と相容れない科目のひとつでした。今の高校の物理教科書を開いてみると、確かに天下りの部分が増えているようで、本来は筋の通った1つの話が、多数の雑多な現象の話という印象を与えているような気がします。このような感覚で物理を勉強してきた学生さんは、大学に入ってから、それぞれの現象に対応する「便利な公式」を知りたがり、あまり物理的な意味のつながりに興味をもてない傾向があるように思われます。これは、プラズマ・核融合の分野のみならず、物理を必要とする工学、理学のどの分野にとっても良いことではないと思われま。

ここまで述べたような理由だけではないでしょうが、

高校での物理IBの履修率は20%を切っていて、物理IIまで学ぶ学生はさらに少ないという新聞記事を目にしました。さらに、再来年に大学に入学してくる学生さんの使っている新課程の物理教科書を見ると、教科書で扱う項目数はかなり増えていますが、トータルの分量自体は従来と変わらないようで、現象の羅列の傾向はさらに強まっているようにみえます。このことが、「物理はおもしろくない暗記科目」という印象をますます強めるのではないかと懸念しています。

これに対する対策は、すでに様々なところで議論されていますが、やはり物理現象の面白さを実感してもらうことが一番ではないかと思えます。大学側からできることは、研究室で公開実験を行う、あるいは高校に出張講義に出かけて話をするといったことでしょうか。私もできる限り努力していかなければと思っています。

(粕谷俊郎)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	高村 秀一	副 会 長	山中 龍彦	藤原 正巳	常務理事	岡村 昇一 (総務委員長)
理 事	榎戸 武揚 (広報委員長)	岡野 邦彦	尾崎 章 (財務委員長)		田中 和夫 (プログラム委員長)	
	際本 泰士	佐藤浩之助	長 照二 (出版委員長)		永見 正幸	
	田辺 哲朗	長 照二 (出版委員長)	嶋山 力三		堀岡 一彦 (広告委員長)	
	二宮 博正	嶋山 力三	吉田 善章 (編集委員長)			
	松岡 啓介 (企画委員長)	吉田 善章 (編集委員長)	藤山 寛			
監 事	長谷川 満	藤山 寛				

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 吉田善章 (東大新領域)

エディター 関子秀樹 (九大), 関 昌弘 (原研), 田中雅慶 (核融合研), 西村博明 (阪大), 福山 淳 (京大), 藤山 寛 (長崎大)
 編集委員 相澤正満 (日大量科研), 安藤利得 (金沢大院理), 井深真治 (東工大院理工), 岩前 敦 (京大院工), 江角直道 (長野高専), 遠藤琢磨 (広大院工), 粕谷俊郎 (同志社大工), 菅野龍太郎 (核融合研), 近藤公伯 (阪大院工), 榎田 創 (産総研), 篠原俊二郎 (九大院総理工), 清水勝宏 (原研那珂), 下妻 隆 (核融合研), 鈴木 哲 (原研那珂), 鈴木千尋 (核融合研), 高杉恵一 (日大量子研), 力石浩孝 (核融合研), 波多江仰紀 (原研那珂), 服部邦彦 (東北大院工), 林康明 (京都工繊大), 檜垣浩之 (筑波大プラズマ), 松本和憲 (富山県大工), 南 貴司 (核融合研), 村上定義 (京大院工), 森下和功 (京大エネ理工研), 山本 靖 (京大エネ理工研), 湯上 登 (宇都宮大院工)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第80巻第8号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: jsfp@nifs.ac.jp URL: http://www.jsfp.or.jp/

印刷 株式会社荒川印刷

2004年(平成16年)8月25日

定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月、第1金曜日に開かれています。但し、第1金曜日が休日あるいは5日以降の場合はその前週の金曜日に開かれます。